



今回は平成28年度「科学の甲子園」岐阜県大会についてお伝えします。

◇ 平成28年度「科学の甲子園」岐阜県大会

11月5日(土) 関市小屋名の岐阜県博物館において平成28年度「科学の甲子園」岐阜県大会が行われました。

この大会は科学好きの高校生が競い合う場を設け、科学に対する興味・関心を高め、科学好きの生徒の裾野を広げることを目的に開催されています。岐阜県内の高等学校に在籍する1・2年生が参加でき、1チーム6名編成とし、1校2チームまで参加できます。

県内の高校では、岐阜・大垣北・関・恵那が各2チーム、岐山・大垣西・可児・多治見北が各1チーム、出場しました。

競技内容は理科、数学、情報分野の総合的な知識活用問題の筆記試験と指定された課題に関する実技試験があり、この総合成績で判定されます。**関高校からは参加を希望した1年生12名が2チームに分かれて参加しました。**

◇ 大会の様子 関高Aチーム 準優勝

はじめに入り口で着席場所をくじ引きで決めます。その後開会式があり、注意事項等の連絡を聞きました。

午前は**120分間の筆記競技**です。物理・化学・生物・地学・数学・情報の大問12問が出題されました。幅広い知識を必要とし、日頃からの学習成果を競いました。この大会はチーム戦なので、チーム内で問題を分担して行い、終盤には解答を確認するなど、お互いに協議しながら取り組みました。

午後からの**実技競技は90分間**で、アミノ酸配列の構造を特定する実験手順を考えました。模擬実験が用意されており、その結果をもとに特定までに要した手順の少なさを競いました。手順を導き出す所要時間は成績には入らなかったため、制限時間になるまで慎重に話し合いながら取り組みました。

11月下旬に結果発表がありました。県内8校から12チームの参加があり、筆記競技と実技競技の成績点数の合計により順位を決定します。

関高校Aチーム : 準優勝

惜しくも、関高校Aチームは準優勝でした。優勝した岐阜高校Aチームは岐阜県代表として来年3月につくば市で開催される全国大会に出場します。



◇ 参加した生徒の感想

・とても難しい問題だったが、みんなで協力し、準優勝というよい成績が残すことができてよかった。

・自分の担当した化学に関しては心残りが多々ある。**準備にほとんどできなかった中、みんなで何とかうまくやれたと思う。あと1週間先だったら・・・と思ったりもした**のだが、その辺りは後輩への教訓としてつづいて来年以降、より良い成績が残せることを願っている。

・今回大会に参加して仲間とともに問題を解いたり、実験をしたりする楽しさを学びました。問題、実験ともに見慣れないシチュエーションでの出題でしたが、どちらも「科学」の面白さというものを知りました。今回の大会を契機に科学の楽しさを深く学んでいきたいと思いました。

・僕の解いた問題はすべて習っていない分野だったけど、最低限の結果を残せたのでよかった。

普段から論理的に考えることが大切だと思いました。

・僕が一番印象に残っていることは、実技競技の生物の実験です。僕は生物選択ではなかったのですが、実験の科目が生物だと聞いたときとても不安だったけれどその場で問題の説明・条件を読んで何とか理解することができました。生物を解いていて「楽しい」と感じました。今まで生物の魅力に気づけなかったけど、この大会を通して生物に対する興味がわきました。

・準優勝できてうれしかったです。復習をするきっかけになったし、問題も面白かった。